

第50号

はあもにいい

第21回通常総会を開催

平成28年6月20日(月)に、東天紅 JACK 大宮店会議室において第21回通常総会を開催しました。

第1部 通常総会

坂田会長が議長に選任され、第1号議案「平成27年度事業報告並びに収支決算承認の件」、第2号議案「平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)並びに会費の額と納入方法決定の件」について、原案どおり満場一致で承認・可決されました。

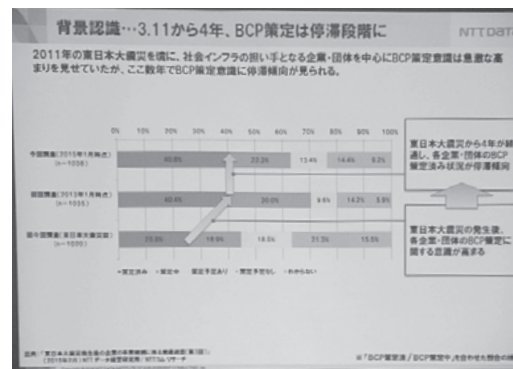


議事進行する坂田会長

個社個別で検討する従来型のBCP策定スタイルには限界が見え始めており、事業継続の代替手段が少ない中小企業が取べき事業継続戦略は、同業や競合企業との連携型のBCP策定が有効であるということから、連携型BCPの先行事例が詳しく紹介されました。最後に、施設、設備、人的資源といった経営資源情報を官民双方で蓄積・共有することにより、有事のみならず、平時においても相互利用を促進させる効果に期待できると説明がなされました。



第21回通常総会風景



BCP策定の解説

第2部 講演会

総会に引き続き、「BCP企業間連携を通じた地域産業競争力の強化策」をテーマに、株式会社NTTデータ経営研究所事業戦略コンサルティングユニット シニアマネージャー 白橋 賢太郎氏を講師に迎えて講演が行われました。



講師の白橋氏

第3部 情報交換会

坂田会長並びに来賓を代表し、埼玉県産業技術総合センター 鈴木康之副センター長より挨拶の後、



挨拶をする
 埼玉県産業技術総合センター
 鈴木副センター長



乾杯の挨拶をする
 中央会 渡部専務

埼玉県中小企業団体中央会 専務理事渡部氏より乾杯挨拶が行われました。情報交換会では、参加者が

名刺交換を積極的に行うなど盛会裏に閉会しました。

埼玉大学産学交流会 テクノカフェに参加しました

平成28年11月28日(月)、埼玉大学にて本会産学連携研修会として参加しました。

第1部 講演会

講演の前に、埼玉大学産学官連携協議会の会長 上條 正仁氏よりご挨拶をいただきました。

株式会社オプティム 代表取締役社長 菅谷 俊二氏より『第4次産業革命とIoT・AI・Robot』をテーマにIoTについてご講演いただきました。「ネットを空気に変える」というコンセプトを掲げ、もはや生活インフラとなったインターネットが、いまだに利用にあたりITリテラシーを必要とする現状を変え、インターネットそのものを空気のように、意識することなく使いこなせる存在に変えていくことをミッションとしている株式会社オプティムのIoT事業について解説がなされました。そして、あらゆる産業との融合を目指している事例がいくつか紹介されました。例えば、農業とITを組み合わせ、自動農薬散布、自動夜間害虫駆除及び作物管理機能を搭載したアグリドローンや、医療とITを組み合わせ、遠隔医療や見守り機能を備えたAIの開発などが紹介され、基調講演は終了しました。

次に、株式会社朝日ラバー 取締役 田崎 益次氏より『企業との研究(産学連携)事例紹介』をテーマに埼玉大学との産学連携についてご講演いただきました。

埼玉大学と企業の産学連携の事例として、株式会



挨拶する
埼玉大学産学官連携協議会
上條会長



株式会社オプティム
菅谷代表取締役社長



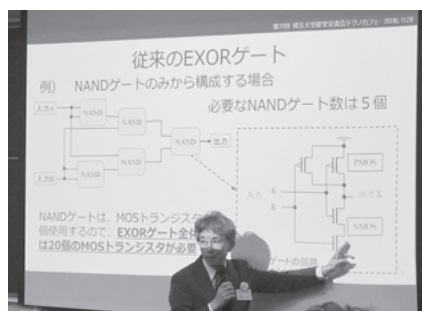
講演会風景

社朝日ラバーと埼玉大学大学院理工学研究科 教授 綿貫 啓一氏が連携して開発した製品の発表が行われました。共同開発した製品は、色のバラつきが少なく、視認性に優れ疲労低減特性のある自動車内装照明LEDの蛍光大層であり、LEDの分光分布の視認性や疲労に対する影響について、心拍、脳波、脳血流等の生体指標から定量化する研究を行い、蛍光大層の配合で視認性向上や疲労低減効果の機能性を付加した製品化を目指しているとの説明がありました。

最後に、イノベーション・ジャパン2016に出展した9名の埼玉大学教員より、新たな産業に発展する可能性のある研究事例発表が行われました。専門的な研究解説の後、特許を取得したり、実際に商品化をした事例が発表され、産学連携のアピールがなされました。

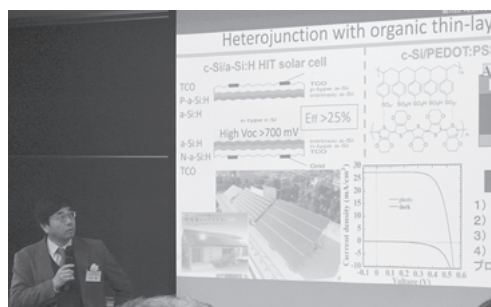
①テーマ：「従来の半導体と異なる技術を利用した不揮発型論理ゲート」

講師：埼玉大学大学院理工学研究科
教授 酒井 政道 氏

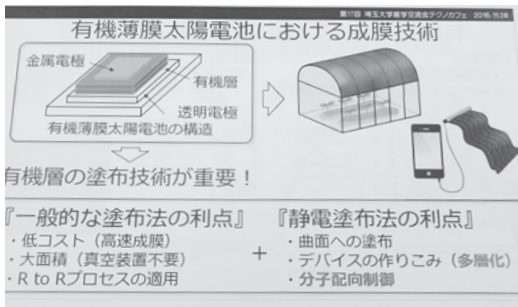


②テーマ：「塗布型高効率Si系太陽電池とその応用」

講師：埼玉大学大学院理工学研究科
教授 白井 肇 氏



- ③テーマ：「静電塗布法が創り出す積層型・高配向の有機薄膜太陽電池」
 講師：埼玉大学大学院理工学研究科
 助教 福田 武司 氏



- ④テーマ：「進化的手法による人工 VHH 抗体の創製と診断応用」
 講師：埼玉大学大学院理工学研究科
 研究員 新井 秀直 氏

Phage display法を用いた従来法		cDNA display法
あり（1回/年）	抗原の動物への免疫付与	なし
あり（高い飼育費）	動物の飼育	なし（試験管内操作）
長期間（1年以上）	実験期間	短期間（約1ヶ月）
$10^5 - 10^7$ (/mL)	遺伝子の多様性	$10^{10} - 10^{12}$ (/mL)
使用不可	細胞毒性をもつ抗原	使用可

埼玉大学大学院

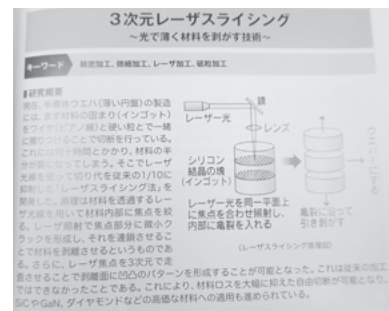
- ⑤テーマ：「電動車いすロボット化モジュールの開発」
 講師：埼玉大学大学院理工学研究科
 准教授 小林 貴訓 氏



- ⑥テーマ：「茎部での超音波検出による植物の応答計測」
 講師：埼玉大学大学院理工学研究科
 教授 蔭山 健介 氏



- ⑦テーマ：「次世代精密微細加工技術」
 講師：埼玉大学大学院理工学研究科
 教授 池野 順一 氏



- ⑧テーマ：「廃棄バイオマス由来の高品質土壌改質炭の製造とガス化」
 講師：埼玉大学大学院理工学研究科
 准教授 藤野 毅 氏



- ⑨テーマ：「高速・高精度に大面積表面形状を検査する光センシング機器」
 講師：埼玉大学大学院理工学研究科
 准教授 塩田 達俊 氏



第3部 交流懇親会

懇親会には、講師や大学関係者も参加し、名刺交換をはじめ、お互いに情報交換を行うなど盛会裏に終了しました。



挨拶をする
松岡センター長



交流懇親会の風景

経営革新計画を作成しませんか。

企業が持続的に発展していくためには、定期的に経営計画を立てていくことがとても大切です。

県では、中小企業の皆様が新たな取組を計画・実行しようとする際に、専門家の支援も受けながら「経営革新計画」を作成し、知事の承認を受けることができる「経営革新承認制度」を推進しています。

こんな中小事業者にお薦めします！

- ▶ 新たな取組で、経営の向上や改善を目指したい。
- ▶ 社内の意識を共有化し、計画経営を実践したい。
- ▶ 事業承継を検討している。
- ▶ 補助金の申請をするために、事業計画を策定しておきたい。
- ▶ よりよい人材を採用したい。
- ▶ 事業計画を策定し、金融機関からの融資を受けたい。 など。



「経営革新計画」の作成・承認の効果

- ▶ 計画経営に転換…夢の実現に向けた具体的な計画立案が可能になります！
- ▶ 会社の信用力の向上…金融機関・取引先への信用力が向上します！
- ▶ 知名度の向上…営業活動での話題提供などにも活用できます！

経営革新計画承認企業への支援施策

- ▶ 計画実行のための専門家派遣（無料 中小企業診断士等）
- ▶ 経営革新計画促進融資（県制度融資）、日本政策金融公庫による融資
- ▶ 販売アドバイザー（企業OB等）の派遣
- ▶ 中小企業信用保険法の特例（債務保証）、特許料等の軽減

*各種支援施策を利用するためには、別途申請や各機関による審査が必要です。

お問い合わせ

埼玉県庁 産業労働部 産業支援課 経営革新支援担当

TEL 048-830-3910 FAX 048-830-4813 E-mail a3770-04@pref.saitama.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/a0803/a38.html>